

トンネルマルチメディア情報化施工システム



マルチメディアを用いた、トンネル工事の合理的情報化施工システム

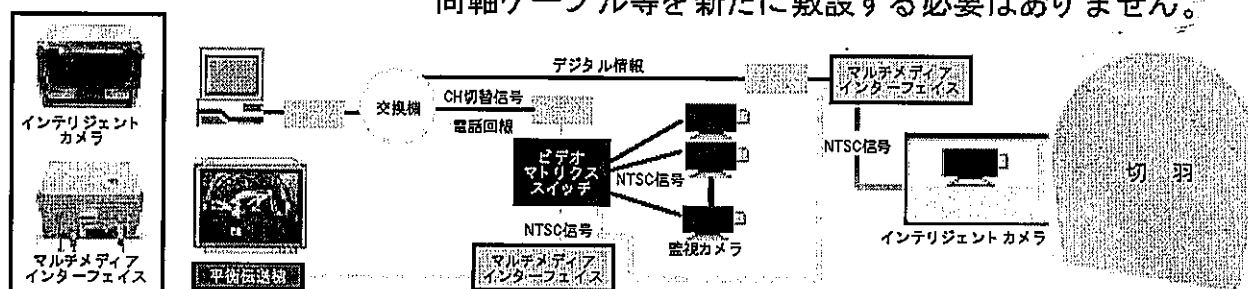
お客様のメリット

- 既設インフラに微弱無線・PHS・CCDカメラ等の組み合わせにより、現場各所の監視・情報収集、現場と事務所間の連絡指示等ができます。
- 既設インフラを利用するので、低コストで機器構築が行えます。

技術の特徴

○3つのサブシステムによりシステムが構成されています

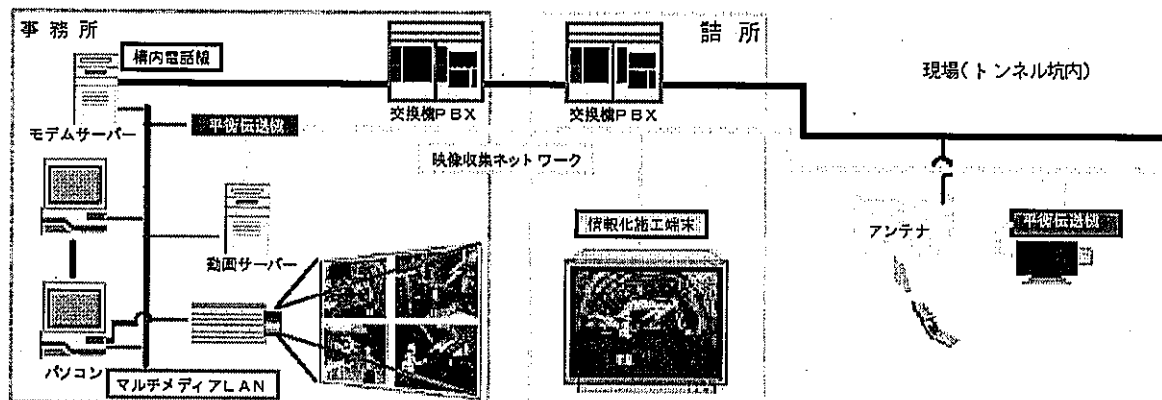
- 映像収集ネットワーク：事務所から現場をリアルタイム映像で遠隔監視できます。同軸ケーブル等を新たに敷設する必要はありません。



- PHS携帯通信システム：電話で作業指示や連絡等が行えます。作業所の規模・用途に応じ、最適コストで構築可能です。



- マルチメディアLAN：事務所のパソコンから、監視映像や計測情報の収集・監視カメラの制御等を集中管理できます。見学者へのプレゼンテーションにも活用できます。



実績・事例

- 九州新幹線田上トンネル 1998年着工